



未来に生きる 私たちの思い



▲①講義は対話型で、SDGsは身近なことから取り組めることや、脱炭素の進展や通信技術の向上などにより2030年の社会がどのように変わるのかなどをわかりやすく解説。本市からは、市の共生社会実現に向けた取り組みを紹介しました②宣言カードには「ごみをリサイクルしたい」「いじめや差別・男女の不平等をなくしたい」「高齢者にインターネットの使い方を教えたい」など、未来を担う子どもたちのさまざまな思いが綴られました

11月26日、市総合体育館で「子どもたちと一緒に考えるBeyond SDGs 子どもシンポジウム」(主催:株式会社LOCAL2)が行われました。このシンポジウムは、国際的な取り組みであるSDGs(持続可能な開発目標)への理解や参加を広めることを目的としています。この日は、後藤寺小学校の5年生44人が参加し、SDGsに取り組む企業の代表者の講演などでSDGsの基礎や目指す未来像などを学習しました。また、SDGsを「自分ごと」として捉えるきっかけとして、今できること・将来実現したいことを書き込んだ1人1枚の宣言カードを作成。大きなボードに貼り付け「Beyond SDGs宣言ボード」を完成させました。



令和4年